

公益財団法人 三井住友海上文化財団
令和2年度「文化の国際交流活動に対する助成」助成先団体

団体名	所在地	団体概要・活動実績	助成対象事業				助成金
			交流相手	交流人数	日程	内容（■印は申請書記載の事業名）	
秋田県立由利高等学校 (民謡部)	秋田県	秋田県を代表する伝統芸能団体。約50年の歴史があり、平成29、30年全国総合文化祭郷土芸能部門優良賞等、各大会で表彰を受けている。レパートリーは地元秋田県の民謡だけでなく北海道から沖縄まで多岐に渡り、例年7月の定期演奏会には1,000名以上の県内外の観客が来場する等、人気を呼んでいる。	台湾	派遣 7名	令和3年 10月18日～10月20日 (3日間) ※令和3年5～6月予定 (3日間)	■台湾高雄市立文山高級中学との文化交流 民謡部生徒と引率教員を現在交流活動を行っている台湾高雄市立文山高級中学に派遣し、伝統芸能を通じた交流活動を行う。さらに、近隣の小中学校や関係機関においても民謡の歌や舞を披露し、日本および由利本荘市の民謡文化を紹介する。	50万円
チームITO	東京都	江戸糸あやつり人形・結城座に20年以上在籍し、退座した人形遣い、稲津（塩川）京子を中心に江戸糸あやつり人形の技術をより多くの人に知ってもらいたいと活動している任意団体。平成26年にマレーシアの影絵芝居とコラボレーションを行って以来、マレーシアを中心とする海外のグループとも交流を行っている。	マレーシア	派遣 5名	令和2年 7月21日～7月27日 (7日間) ※令和3年7月予定 (7日間)	■江戸糸あやつり人形とポテヒによる「西遊記」上演 マレーシア、ペナン州で毎年夏に開催される最大級のアート・フェスティバル「ジョージタウン・フェスティバル」において、「江戸糸あやつり人形」と「ポテヒ」のコラボレーションで、「西遊記」を上演する。お互いの技術を学びあい、発展させるとともに、多くのマレーシア人知ってもらおう機会とする。	50万円
大正琴新潟友の会内 琴リリック実行委員会	新潟県	琴リリック実行委員会の母体である大正琴新潟友の会は昭和63年に発足し、新潟県下を中心に、大正琴の愛好者団体となった。全国各地でのイベント出演のほか、スペインサラゴサ万博や上海万博など海外でも活躍。近年は「大正琴を世界に広げよう運動」として、全国から不用になった大正琴を集めて再生し、海外の子どもたちに贈っている。	11カ国他	招聘 100名	令和2年 8月20日～8月24日 (5日間) ※令和4年夏予定 (5日間)	■「大正琴を世界に広げよう」運動 使わなくなった大正琴を活かそう 「第3回世界大正琴交流大会琴リリック2020 イン新潟」の海外参加者に大正琴を指導し、コンサートホールで演奏を披露してもらう。そして一人一台、大正琴をプレゼントし、その後もインターネットを使って指導を行う。	50万円
半田ジュニアプラスバンド	愛知県	プラスバンドの活動を通して、地域文化の向上と青少年の健全育成を目的に、半田市の社会教育・生涯学習の一環として設立。定期演奏会をはじめ、地域の文化活動に積極的に参加。半田市の姉妹都市であるオーストラリア・ポートマッコリー市の青少年バンドとは、平成10年以来、両国で計12回のフレンドシップコンサートを開催している。	ブータン	派遣 30名	令和2年 8月21日～8月28日 (8日間) ※令和2年3月or8月 (8日間)	■半田ジュニアプラスバンド ブータン王国演奏派遣事業 平成17年の愛・地球博の際に半田市とフレンドシップ相手国となったブータン王国において、野外広場や学校で演奏会等を行う。西洋音楽（特にクラシック音楽や吹奏楽）に馴染みの薄いブータンの青少年に半田ジュニアプラスバンドの子どもたちの演奏を聴いてもらうことにより、文化交流を通じて相互理解を図る。	50万円
兵庫稲美少年少女合唱団	兵庫県	平成2年に「地域の子どもたちに音楽の夢を」「歌声あふれる稲美」をめざし創立。毎年、海外団体との交歓演奏会を地域の文化ホールで開催している。これまでに兵庫県代表として国民文化祭「合唱の祭典」へ7回派遣されている。また、地元兵庫の民謡・わらべうたを採譜し、合唱曲として発信し続けている。	ハンガリー	派遣 30名	令和2年 4月1日～4月3日 (3日間) ※令和3年3月予定 (3日間)	■日本・ハンガリー フレンドシップコンサート・交流会 日本の「浜辺の歌」やハンガリーの「緑の森で」等の両国の音楽作品を合同で練習し、ジョイントコンサートにおいて演奏を披露する。事前の交流会では日本はわらべうた、ハンガリーは民族ダンスを紹介し、異国の文化を体験しながら交流を深める。滞在中はホームステイを行う。	50万円
シュルンマーリート インターナショナルコンサートの会	山口県	平成9年に地元山口の音楽大学生達が立ち上げ、音楽を市民に提供することと、音楽を通じた児童の健全育成を図ることを目的に設立。毎年、クリスマスの時期に県内の7～8カ所でハンドベル演奏を行っている。3年前より演奏と国際交流を目的に、スイスとの交流を始めている。 ※シュルンマーリート＝ドイツ語で子守唄	スイス	派遣 10名	令和2年 4月1日～4月7日 (7日間) ※令和3年8月予定 (8日間)	■シュルンマーリート スイス演奏交流 スイスの小学校へ行き、音楽の授業でハンドベルの演奏と日本の歌を披露、スイスの子どもたちにハンドベルを体験してもらう。また音楽学校のコンサートにもゲスト出演し、ハンドベルの演奏を披露するとともに、日本・スイス両国のわらべうたを一緒に歌う。	50万円
唐津人形浄瑠璃保存会	佐賀県	唐津に九州でただ一人の浄瑠璃指導者である竹本鳴子太夫が在住し、県内外での公演活動や伝統芸能の伝承として、子どもから大人まで指導している。唐津やその周辺地域における伝承を目的に、竹本鳴子門下生有志で「唐津人形浄瑠璃保存会」を設立。市内小学校で浄瑠璃指導や定期公演をはじめ、平成29年、30年はニューヨークでも公演を行っている。	アメリカ	派遣 13名	令和2年 6月21日～6月23日 (3日間) ※令和3年6月予定 (3日間)	■唐津人形浄瑠璃保存会 ニューヨーク公演 唐津人形浄瑠璃保存会による三味線演奏、舞踊、歌舞伎、人形浄瑠璃を披露する。言葉の壁を越え、人形浄瑠璃を通じて、日本の伝統芸能を見て理解してもらう。公演後のレセプションでは来場者とも交流を深めて、海外との友好関係を築く。	50万円
長崎交響楽団	長崎県	昭和45年長崎港開港400年を記念して地域音楽文化の向上と青少年の情操教育に寄与することを目的として誕生。年2回の定期演奏会の他、離島・遠隔地巡回演奏等も手がける。平成7年に米国の姉妹都市セントポール市へ訪問演奏を行い、翌平成8年セントポール市民交響楽団と日米初の姉妹オーケストラ提携を結んだ。	アメリカ	招聘 50名	令和2年 10月6日～10月12日 (7日間) ※令和3年10月予定 (7日間)	■長崎交響楽団 50周年記念「もってこい」コンサート2020 長崎交響楽団の姉妹オーケストラであるセントポール市民交響楽団を招聘し、地域交流型演奏会に参加してもらい、音楽演奏を通じた国際交流を行う。滞在期間中は学校訪問による文化交流、ホームステイによる市民交流も行う。また同時期に開催されるお祭り「長崎くんち」にも見学・参加する。	50万円

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定から日程変更

以上 8団体 / 申請総数28団体 助成金合計400万円